

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	アメリカ質量分析学会 第65回大会（インディアナポリス）
演題名	Visualization of Abscisic Acid and 12-Oxo-Phytodienoic Acid in Immature Phaseolus vulgaris L. Seeds Using Desorption Electrospray Ionization-Imaging Mass Spectrometry
発表者	○ <u>Hirofumi Enomoto</u> , <u>Takuya Sensu</u> ※, <u>Futoshi Sato</u> [1], <u>Emi Yumoto</u> , <u>Takao Yokota</u> , <u>Hisakazu Yamane</u> . [1] Waters Corp.
内容	<p>脱離エレクトロスプレーイオン化（DESI）は、新しい大気圧イオン化法の一つであり、最近、イメージング質量分析への利用が進められている。アブシシン酸(ABA)および、12-オキソフィトジエン酸(OPDA)は、種子の生育において重要な働きをしているが、その局在はほとんど不明である。そこで、本発表では、DESI-イメージング質量分析法を用いてインゲンマメ未熟種子中のABAおよびOPDAを可視化し、その種子内局在について報告した。</p> <p>なお、本研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の支援を受けて行った。</p>
関連画像	